



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)廣内 世英 (副会長)渡邊 裕之 (幹事)有我 信行
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1330 回例会

2014 年 4 月 16 日

本日のプログラム

例 会 12:30 ~ 13:30
卓 話「地域とともに最も身近で
最も頼りにされる金融機関を目指して」
東京信用金庫本店営業部執行役員
本店営業部長 平野 吉彦氏
紹介者 村中 秀朗会員

次回のプログラム

例 会 12:30 ~ 13:30
卓 話「絵で見る税の歴史」
豊島税務署長 猪狩 稔氏
紹介者 有我 信行会員
※4月23日(水)は特別休会です。

🎵 今月のソングリーダー 渡辺 裕之会員 🎵

前回の例会報告 2014 年 4 月 9 日

会 長 報 告

吉田ガバナーより地区納めの会(感謝のタベ)のご案内です。

年度の終了に当たり、なるべく多くの会員の皆様方にお集りいただき開催いたしたくとのことでできております。

日 時 6月27日(金) 18:00~20:30

場 所 ハイアットリージェンシー東京

登録料 1名12,000円

出席ご希望の方は事務局までお申付け下さい。

幹 事 報 告

①4月のホームミーティングを4グループに分けて開催して頂きます。

テーマは次年度のクラブ運営又は要望についてです。現在Aグループが18日(金) Bグループが21日(月)で開催致しますので宜しくお願い致します。

②4月14日(月) 東京浅草RC創立50周年記念例会に前川PG, 廣内会長、幹事の有我が出席致します。

■ゲスト

ガバナーエレクト

(東京池袋RC)

会長ゲスト

鈴木 孝雄様

林 文彦様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	3月26日分 修正出席率
33 名	30 名	21 名	9 名	70.00%	88.89%



ニコニコBOX

澤田会員/日曜日のゴルフ、満開の桜の下で久しぶりに、いいスコアが出て大満足だったのでニコニコします。

浅原会員/結婚記念日いつも忘れずに助かってます。美味しい果物をいただきありがとうございます。



クラブ内行事のお知らせ

4月のホームミーティングが開催されます。
現在下記のグループでご案内しております。
尚、ご案内されたグループ以外にも参加可能ですので申込みをお待ちしております。

Aグループ

4月18日(金) 華湘 18:30~

Bグループ

4月21日(月) 蓮花 18:00~



私とロータリー



中島会員



鈴木GE

RI会長からのメッセージ

2014年4月

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーの雑誌を読むことは、ロータリークラブの例会に出席するのと同様に、ロータリアンであるための経験を分かち合う大切な要素です。オーストラリアの『Rotary Down Under』であれ、日本の『ロータリーの友』であれ、ロータリーの出版物を手に取りれば、それらの一冊一冊が提供するもの、何を意図しているかがわかるでしょう。それは情報を提供し、やる気を起こさせるということです。最新のロータリーニュースを掲載し、ロータリーの奉仕に役立つ新しいアイデアをもたらし、そして私たちにとって適切で重要な記事を届けてくれます。私にとって世界中で発行されるロータリーの出版物は、個々のクラブがローカルなもので、地域社会に根差した存在で、真に地球規模でのネットワークを実践しているという、ロータリーの最大の強みを実際に表現してくれるものです。

地域性と国際性を併せ持ったロータリーの雑誌

この組織は、驚くほど大きく、多様性に富んでいます。そして、私たちすべてがロータリーについての共通点を持っているのと同様に、一つですべてを賄うこともできないのです。文化や言語において、私たちの雑誌に対する期待は、当然、違ってくるでしょう。私たちの地域的な出版物によって、ブルガリアのロータリアンは、エバンストン（RI世界本部のある町）からの最新ニュースに加えて、ブルガリアで起こっていることや、ロータリー世界のどこかで起こっていることを知ることができます。ロータリーの出版物は、それぞれがロータリー雑誌の家族に属しているので、ロータリークラブのように、地域性と国際性を併せ持っているのです。

夜間移動例会（家族会）



ロータリーの雑誌で誇りを感じてください

国際ロータリーの会長であることの最大の特典の一つは、120万人のロータリアン一人ひとりに毎月、直接話しかけられることです。リビングに腰掛けて、あるいは朝食のテーブルで、あるいは通勤中の電車の中で、この文章を読み、ページをめくってロータリーの新しいことを見だしている皆さんすべてのことを考えながら、この原稿を書く時、畏敬の念が湧いてきます。皆さん一人ひとりは、まさにこのようにしてロータリーの雑誌をお読みになっていることでしょう。メールボックスにロータリーの雑誌が入っていたからとか、義務だと感じるからではなく、ロータリーの雑誌は、良い雑誌だから読むのです。皆さんが雑誌を手にする時、私と同じような誇りと大志を得てほしいと思います。

ロータリーの雑誌は、ロータリアンとして、私たちすべてが自分たち自身より大きなものの一員であることを思い出させてくれます。ロータリーの雑誌は、私たちがロータリーを通してどれだけ多くのことを達成できるのかを、教えてくれます。ロータリーの地域雑誌を通して、ロータリー財団に寄付したお金が何に使われたか、仲間のロータリアンは何をしているのかを知ることができます。そして私たちは「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」へと駆り立てられるのです。